

元川町交差点 交通安全対策に関する懇談会 報告

～元川町交差点の改善にむけて第1回懇談会を開催しました～

平成23年11月



元川町交差点では、平成17年に交差点改良を実施しましたが、地域から更なる改善を望む声が寄せられております。また、改良後も依然として事故が多く、事故危険区間リストに選定されたことから、更なる改善にむけて追加対策を検討いたします。

11月1日に第1回目の懇談会を開催し、事故対策、交通円滑化に向けて地域の方々と課題・対策について意見交換を行いました。

【第1回懇談会の概要】

日時：平成23年11月1日（火） 18:00～20:00

場所：留萌市保健福祉センター「はーとふる」

参加機関：五十嵐町市営住宅自治会リラ、千鳥町一丁目親睦会、美園町内会、元川町町内会、元川町交差点花いっぱい
の会、留萌商工会議所、旭川地区トラック協会留萌部会
旭川地区ハイヤー協会留萌部会、沿岸バス(株)
北海道留萌振興局、留萌市、留萌市教育委員会、
留萌警察署、北海道開発局留萌開発建設部



懇談会の様子

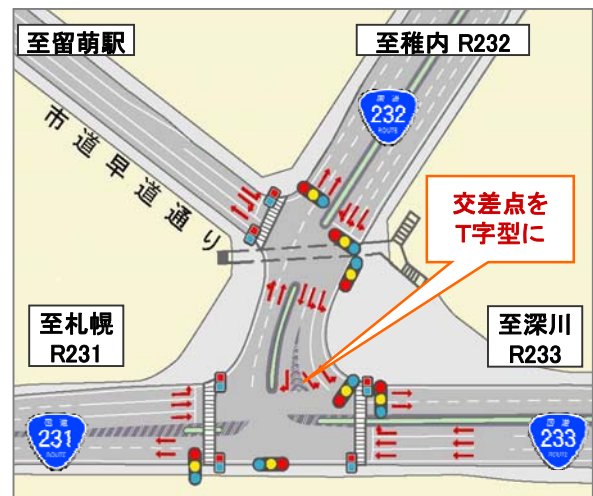
1. 元川町交差点の経緯について

元川町交差点は国道231号、232号、233号、市道早道通りが変則的に交差するため、追突事故や衝突事故が多発しており、平成17年に交差点改良を実施しました。

交差点改良案の作成にあたっては、PI（パブリック・インボルブメント）を実施し、道路利用者や地域住民の意見を反映させていただき、現在の交差点形状になりました。



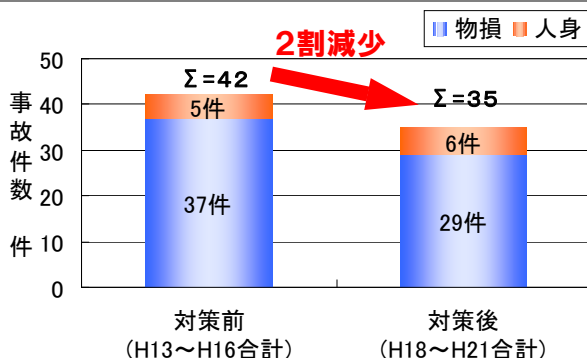
改良前



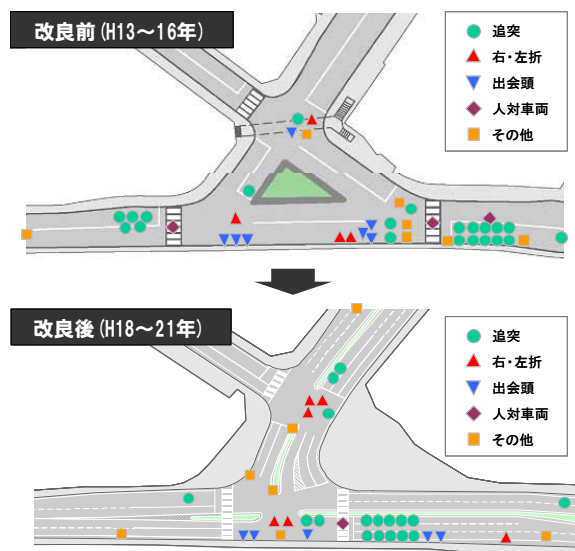
改良後（現在）

2. 対策前・後の事故件数の変化

交差点改良後、約2割の事故減少効果が見られていますが、依然として交差点内での衝突事故や交差点手前での追突事故が発生しています。



改良前後の事故件数

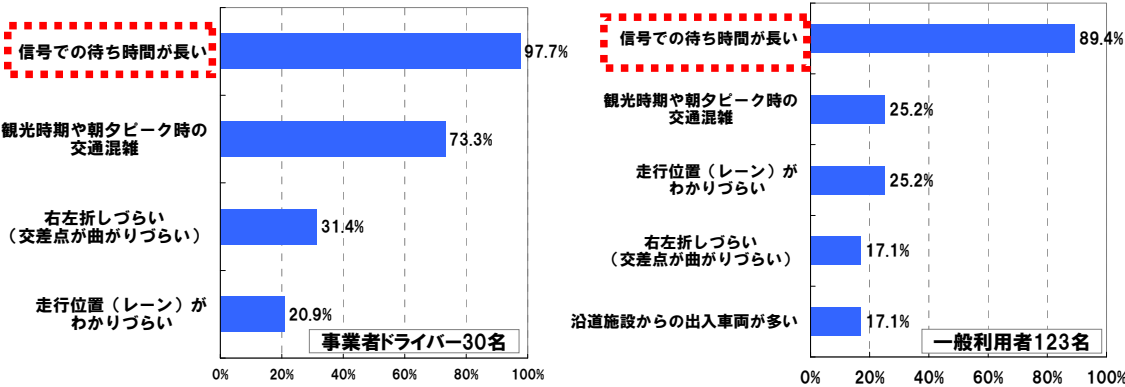


改良前後の事故状況

3. 元川町交差点の課題

■道路利用者等が感じる問題意識（アンケート調査結果）

9割以上の方が「信号での待ち時間が長い」を問題と感じています。



道路利用者が感じる問題意識



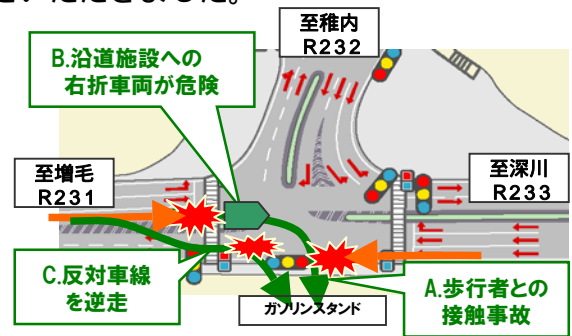
アンケート調査の様子

■「元川町交差点の課題」に関する御意見

懇談会参加者から元川町交差点の課題に関して沢山のご意見をいただきました。

①事故の危険性

- ガソリンスタンドへの出入車両と歩行者等の接触事故の危険性がある。進入のみで出口は禁止する。
- 国道231号から沿道施設への右折は危険（特に冬期）であり、右折車線を設置するか、右折禁止にすべき。
- 増毛方向からガソリンスタンドへ進入する車が反対車線を逆走し危険。中央分離帯の延伸や中央帯ポール設置が必要。



②信号待ち時間の長さ

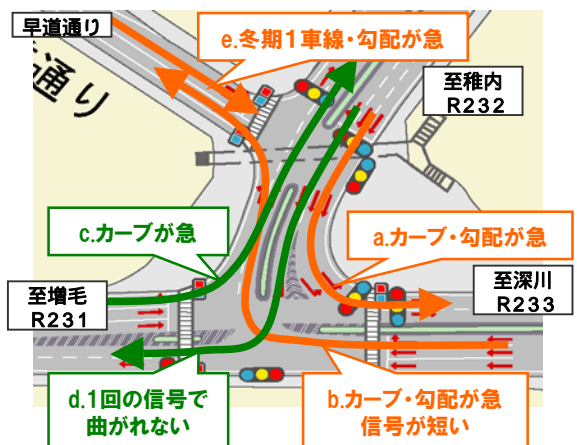
- 信号待ち時間が長過ぎて、精神的にいらつきを感じます。
- 信号待ち時間が長すぎるため、交差点付近ではアクセルを踏み込み加速する等の無理な運転になる。

③信号の視認性

- 深川方向から矢印信号が視認しづらい。（小さい、逆光時等）

④交差点の曲がりづらさ

- 稚内方向から深川方向へ左折の際、下りのヘアピンカーブで冬期は非常に危険。（石炭車など大型車の交通量が多い。）
- 深川方向から市道早道通に抜ける際、矢印信号の時間が非常に短く、カーブが鋭角で上り勾配のため走りづらい
- 増毛方向から稚内方向での左折カーブが急なため、2車線使わなければ曲がれない。
- 稚内方向から増毛方向への右折車線が1車線しかないため1回の信号で曲がれない（深川方向へは2車線）。
- 早道通りは右左折2車線あるが、冬期間は1車線になってしまう。また、上り勾配のため冬期間大型車がスリップする。



⑤その他（他路線に及ぼす影響など）

- 元川町交差点を避ける大型トレーラーが狭い道路（市立病院・東橋付近）を走行しており危険。
- トラックなどの大型車が交差点を回避するため、交差点の事故のリスクが分散したのでは。
- 小平幌糠線ではトラクターが被害にあう事故が発生した。

元川町交差点の課題を4つに集約しました



- 課題1 曲がりづらさの改善
- 課題2 信号の待ち時間の長さの改善
- 課題3 信号の視認性の改善
- 課題4 沿道からの出入り車両との事故対策

4. 元川町交差点の対策

元川町交差点の4つの課題に対して効果的な対策について意見交換しました。

元川町交差点の課題

課題1 曲がりづらさの改善

課題2 信号の待ち時間の長さの改善

課題3 信号の視認性の改善

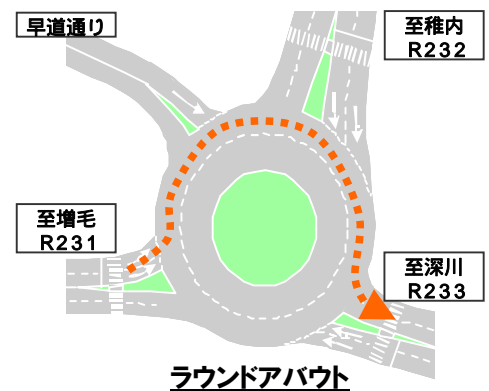
課題4 沿道からの出入り車両との事故対策

課題1 曲がりづらさの改善

- ・国道232号のカーブを改良して、国道231・233号と直角に90度と交差させる案（以下「線形改良案」と表記）がベスト。増毛方向から稚内方向の大きいカーブを残すことができればより安全。
- ・石炭輸送車が多いため「線形改良案」でカーブを緩やかにする。冬期間すべるため少しでも平坦に。
- ・深川方向～稚内方向の交通量が多ければ「線形改良案」の様に緩いカーブでT字型にする必要がある。
- ・早道通～稚内方向の交通量が少なければ、早道通を国道231号へ取り付けては。
- ・交差点形状の改良と信号待ちの改善の2つ同時に解決しなければ変わらない。
- ・車のことだけでなく歩行者等のことも考えた最良の形にしなければいけない。
- ・留萌インターが出来ると大きく車の流れが変わる。5年10年後も踏まえた中で、今できる最善の策について意見を集約して、即効性のある対応策を期待します。

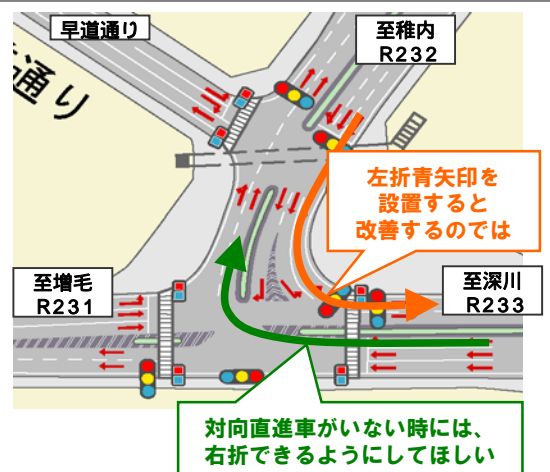
《ラウンドアバウトに関する意見》

- ・ラウンドアバウトは費用が安く信号待ちは皆無である等、北海道新聞にその効果の記事が掲載されている。ラウンドアバウトは海外の実績が多く、長野県で実験が行われている。市街地の入口の交差点に設けることが望ましく、交差点に入る時にスピードを落とすため安全である。
- ・ラウンドアバウトは馴染まないのでは。
- ・ラウンドアバウトは混乱が生じる。
- ・ラウンドアバウトは増毛方向から深川方向へ行く場合にぐるっと回らなければならない。



課題2 信号の待ち時間の長さの改善

- ・現状では、深川方向から稚内方向の右折車両は、対向直進車がない状況（増毛方向への直進車は通行している。）でも、右折することができない。対向直進車がない時は右折できるよう改善してほしい。
- ・稚内方向から深川方向の左折の青矢印をつけると改善にメリットがあるのでは。
- ・信号サイクル長（現在175秒）は、改良前（140秒）位まで戻す方策について考えて頂きたい。
- ・元川町交差点から深川方向に走行すると、次の交差点の信号にも止められてしまう。信号の変わり方を見直してほしい。
- ・児童生徒の通学路になっている。交差点の横断歩道をきちんと渡れる時間、車を止めてほしい。



信号の待ち時間の長さの改善

課題3 信号の視認性の改善

- ・逆光時に視認しづらい。

課題4 沿道からの出入り車両との事故対策

- ・増毛方向から沿道施設への右折車線を設置するか、できなければ右折禁止にすべき。
- ・増毛方向から反対車線を逆走して沿道施設に入ることを防止するため、中央分離帯の延伸や中央帯ポールの設置が必要。

今回頂いたご意見を踏まえ、次回懇談会では実現可能な対策案について検討を行います。

～元川町交差点について 皆様のご意見をお聞かせ下さい～

第1回懇談会では出席者の皆様からたくさんの貴重なご意見を頂くことができました。懇談会に出席されなかった地域の皆様からも、元川町交差点について新たなご意見・ご提案を受け付けております。以下の様式にご記入のうえ、FAXにてお寄せいただくか電子メールでもお受け致します。

なお、お寄せいただいたご意見につきましては、懇談会の参考資料とさせていただきます。また、個人情報に関するものを除き公開させていただく場合がありますのでご了承下さい。

【ご意見・お問い合わせ先】

北海道開発局 留萌開発建設部 道路計画課

FAX：0164-43-8531

電子メール：rm-douro-info@hkd.mlit.go.jp

ご意見

お名前：

ご住所：

ご連絡先TEL：